

臨床研究に関するお知らせ(院内掲示用)

[切除不能肝癌における肝動脈塞栓術治療と分子標的薬治療の肝予備能力変化の比較研究]

肝細胞癌の診断・治療における肝臓の予備能力評価に関する後ろ向き研究へのご協力をお願い

当愛媛県立中央病院・消化器病センター（＝当該施設名に変更）では、肝細胞癌を正確に診断し、よりよい治療成績につなげることを目標として、画像診断や治療内容についてさまざまな臨床的検討を行っております。このような研究活動の基礎となるのが、実際に当院を受診された患者さんの診療録（カルテ）の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、治療成績解析のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に当病院で診断・治療された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、医学の発展に貢献したいと考えています。

1. 対象となる方

当病院にて肝細胞癌と診断され、2000年1月1日から2019年12月31日の間に肝動脈塞栓術、または分子標的薬による治療を受けられた方。

2. 使用する診療情報

カルテ情報：年齢、性別、背景肝疾患、病歴、検査結果（血液検査：血小板・AST・ALT・Alb・PT、画像検査）治療内容、臨床経過等

3. 方法

診療記録を閲覧しながら、患者さんの個人情報排除して、病歴、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報の解析を実施して、肝予備能の変化を比較することで、切除不能肝癌自体の治療成績のさらなる改善につなげることを目的としています。

4. 研究期間

臨床研究審査委員会承認日から2020年12月31日

5. 研究における倫理的配慮について

本研究は、過去の診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼさず、患者さんから採取した試料を実験的に用いることはありません。使用する情報からは、お名前、住所など患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響することはありませんし、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。

もし、このような診療録情報の利用にご承諾いただけない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、お手数ですが、下記の連絡先までお願いいたします。
本研究への協力を望まれない旨のご連絡をいただいた場合は研究対象からは除外させていただきますので、診療情報等は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究代表者】

愛媛県立中央病院 消化器内科 平岡 淳

【連絡先】

愛媛県立中央病院 消化器内科 平岡淳

(電話 (代表) : 089-947-1111、FAX: 089-943-4136)